

The Okura Tokyo Cultural Fund

過去の助成先一覧

<p>2023年</p>		<p>認定特定非営利活動法人 トリトン・アーツ・ネットワーク</p> <p>東京・晴海にある第一生命ホールを活動拠点とするトリトン・アーツ・ネットワークが主催するコンサート。</p> <p>「トリトン晴れた海のオーケストラ(晴れオケ)」は、同団体が、2015年トリトンスクエアと第一生命ホール15周年に先駆けて、地域の象徴となるべく立ち上げた指揮なしの室内オーケストラ。東京都交響楽団のソロ・コンサートマスター矢部達哉を中心に日本を代表する演奏家が集い、2023年から再スタートする「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会(ベートーヴェン・ツィクルス)」の一公演として交響曲第4番とピアノ協奏曲第5番(ピアノ:小山実稚恵)を演奏する。関連企画では子どもたち対象の公開リハーサルやアウトリーチコンサートを実施。</p>
<p>2022年</p>		<p>特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち</p> <p>児童養護施設内にある地域の子育て支援施設において、子ども・家族向けのミニライブ+ワークショップの開催。児童養護施設に暮らす子どもたち、子どもの居場所利用者、地域の一般の子どもとその家族の集まる賑わいを創出。ゆったりと音楽でつながりながら、ふれあいや交流を促し、芸術文化によって地域の子育て振興、社会創造を担う人材育成に貢献している。</p>
<p>2019年</p>		<p>国づくり狂言プロジェクト実行委員会</p> <p>加藤清正の生誕地・愛知と活躍地・熊本の土木功績を練り込んだ新作狂言で両地域の交流を図り、清正の為人と国づくりの功績を広く知ってもらう、狂言を通じたまちづくり・人づくりのコラボレーションをする活動。地元の子どもたちが狂言師とともに舞台づくりをし、日本の伝統芸能継承にも寄与している。</p>
<p>2019年</p>		<p>ARTS for HOPE</p> <p>障がい児者の芸術文化活動を推進する各団体の日々の創作活動において、展示会に出展する作品を制作し、広く一般に向けた鑑賞機会を設け、障がいの有無にかかわらず作品紹介をするインクルーシブな展示会を開催する。東日本大震災の心の復興のため発災当初より長年アートによる支援活動を続けてきた団体。</p>

2018年		<p>山本則重 (能楽師 狂言方大蔵流)</p> <p>「わかりやすさ、親しみやすさ」をモットーに狂言の魅力伝える狂言師 山本則重・則秀兄弟の会。本活動は乳幼児も一緒に芸術に触れることができる機会を創出し、中学生までの子どもが親子で楽しむことのできる公演。「柿山伏」の上演と曲目解説やお囃子の実演、謡の体験ができるワークショップを実施する。</p>
2018年		<p>特定非営利活動法人 The PASS 児童画の国際交流をすすめる画塾協会</p> <p>児童画による国際交流を目的に京都・大阪・滋賀の画塾が集まり、アジア・アフリカ諸国に向けて児童画を送ったことを契機に1978年から始まった展覧会。「子どもの絵、それは言葉のいらぬ手紙です」というメッセージを発信し続け、子どもたちの絵の交換・交流を通して、相互理解と友情をはぐくみながら次世代の平和の礎となり、美術教育に資する活動を行っている。</p>
2017年		<p>公益社団法人 南都楽所なんとがくそ</p> <p>飛鳥白鳳・奈良時代に遣隋使・遣唐使によってもたらされた雅楽・舞楽を伝承し、特に平安期以降の「南都楽所」の奉仕活動を通じ、奈良をはじめ各地の社寺の伝統行事の継承を目的とする。</p>
2017年		<p>子どものためのオペレッタワークショップ 実行委員会</p> <p>歌と芝居と踊りと舞台造りが一体となり多様なアプローチが可能なオペレッタを題材に、創造する喜び、表現する喜びを実感し地域文化振興および芸術・文化による地域創造を目的とする。</p>
2017年		<p>公益財団法人 浜松市文化振興財団</p> <p>楽器や音楽の意味を伝えるべく子供対象の演奏や楽器作りのワークショップを開催し、感受性豊かな子供に対し世界の楽器と音楽の奥深さを伝え、国際理解教育を踏まえ、創造力豊かな人間の育成を目的とする。</p>
2017年		<p>特定非営利活動法人 リトル・クリエイターズ</p> <p>アセアン諸国、インド、香港などの15～25歳の青少年がそれぞれの文化を通して相互理解を深め、友情をはぐくむことを目的に4日間のキャンプをシンガポールにて実施する。</p>

2017年



認定NPO法人 あっちこっち

「アートと音響で世代を超えて集える空間をつくる」を目的とし、オーストラリアのアーティスト madeleine flynn and tim humphrey (マデレイン・フリン&ティム・ハンフリー) らとともに、さまざまな世代がみんなで楽しむことができ、海外において認知度の高い日本独特の分野である「カラオケ」をテーマに、作品を制作するプロジェクト。